

授業計画(シラバス)

科目名	進路研究 I		指導担当者名	就職担当職員
実務経験	無			
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:
年間時間数	28 時間		週時間数	1 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動をする心構えの習得と実準備ができる事を目標とする。 ・前期では、一般常識について学び、習得する事を目標達成ポイントとする。 ・後期では、履歴書作成を目標達成ポイントとする。 			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	SUCCESS			
授業外学習の方法	教科書復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	講師紹介 1-1 これからどう生きるのか(宿題として視聴)	
	2	就職活動の心構え身だしなみ	1-1宿題振り返り 1-2 一生でどのくらい稼げるのか	
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実践編) 身だしなみ	
	4	就職活動の流れ	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い	
	5	職業を知る	2-2 職種と業種の違いが分かるように *志望動機は飛ばします	
	6	情報収集、企業研究、資料請求 1	2-2(実践編) 業界マップの理解	
	7	情報収集、企業研究、資料請求 2	2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	8	情報収集、企業研究、資料請求 3	2-3(実践編) 業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	9	自分自身を知る 自分史の作成 1	3-4から3-6-2 ・3-4自己PRのネタを探す	
	10	自分自身を知る 自分史の作成 2	3-4から3-6-2 ・3-4-1自己PRのネタを探す(経験)	
	11	自分自身を知る 自分史の作成 3	3-4から3-6-2 ・3-4-2自己PRのネタを探す(特性)	
	12	自分自身を知る 自分史の作成 4	3-4から3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る	
	13	自分自身を知る 自分史の作成 5	3-4から3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る(実践編)	
	14	期末試験(一般常識)	自己PRの確認は必須 時間があれば一般常識など	
履修上の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	進路研究 I		指導担当者名	就職担当職員
実務経験	無			
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:
年間時間数	28 時間		週時間数	1 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動をする心構えの習得と実準備ができる事を目標とする。 ・前期では、一般常識について学び、習得する事を目標達成ポイントとする。 ・後期では、履歴書作成を目標達成ポイントとする。 			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	SUCCESS			
授業外学習の方法	教科書復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	15	志望動機の作り方 1	3-7 業界、会社にあった動機作り	
	16	志望動機の作り方 2	3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り	
	17	制作書類 1	3-8・3-8(実践編)、3-1~3-3(実践編)、3-6~3-6-2エントリーシート	
	18	制作書類 2	3-8・3-8(実践編)、3-1~3-3(実践編)、3-6~3-6-2封筒の書き方、添え状	
	19	制作書類 3	3-8・3-8(実践編)、3-1~3-3(実践編)、3-6~3-6-2その他の書類、履歴書	
	20	制作書類 4	3-8・3-8(実践編)、3-1~3-3(実践編)、3-6~3-6-2履歴書の完成	
	21	企業訪問	5-1,5-2	
	22	就職試験のマナー 1	5-2~5-3(実践編) 入退室	
	23	就職試験のマナー 2	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策1	
	24	就職試験のマナー 3	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策2	
	25	筆記試験対策 1	5-5,5-5(実践編) 筆記試験について、種類や方法を知る	
	26	筆記試験対策 2	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)	
	27	筆記試験対策 3	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)	
	28	期末試験(履歴書)	履歴書提出	
履修上の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	クロスオーバーゼミ I	指導担当者名	常勤
実務経験	無		
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生
授業方法	講義:	演習: ○	実習: 実技:
年間時間数	56 時間		週時間数 2 時間
学習到達目標	<p>・学校の特徴でもある複数分野の授業を横断的に学習し、視野を広げ見地を高める。</p> <p>・授業内における複数のカリキュラムメニューから自身の興味関心のあるものを選び学習をすることで無理なく学びにつなげることができ、自身の可能性と得意分野を広げていく。</p>		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	ゼミごとに異なる		
授業外学習の方法	ゼミごとに異なる		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	授業の目的、使用教材についての理解、各担当講師から授業内容について説明。授業選択。
	2	選択基礎1	選択授業の基礎を学ぶ。
	3	選択基礎2	選択授業の基礎を学ぶ。
	4	選択基礎3	選択授業の基礎を学ぶ。
	5	選択基礎4	選択授業の基礎を学ぶ。
	6	選択基礎5	選択授業の基礎を学ぶ。
	7	選択基礎6	選択授業の基礎を学ぶ。
	8	選択基礎7	選択授業の基礎を学ぶ。
	9	選択基礎8	選択授業の基礎を学ぶ。
	10	選択基礎9	選択授業の基礎を学ぶ。
	11	選択基礎10	選択授業の基礎を学ぶ。
	12	選択基礎11	選択授業の基礎を学ぶ。
	13	選択基礎12	期末試験範囲発表、期末試験範囲振り返り
	14	期末試験	期末試験
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	クロスオーバーゼミ I	指導担当者名	常勤
実務経験	無		
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生
授業方法	講義:	演習: ○	実習: 実技:
年間時間数	56 時間	週時間数	2 時間
学習到達目標	<p>・学校の特徴でもある複数分野の授業を横断的に学習し、視野を広げ見地を高める。</p> <p>・授業内における複数のカリキュラムメニューから自身の興味関心のあるものを選び学習をすることで無理なく学びにつなげることができ、自身の可能性と得意分野を広げていく。</p>		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	ゼミごとに異なる		
授業外学習の方法	ゼミごとに異なる		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	15	オリエンテーション	授業の目的、使用教材についての理解、各担当講師から授業内容について説明。授業選択。
	16	選択基礎1	選択授業の基礎を学ぶ。
	17	選択基礎2	選択授業の基礎を学ぶ。
	18	選択基礎3	選択授業の基礎を学ぶ。
	19	選択基礎4	選択授業の基礎を学ぶ。
	20	選択基礎5	選択授業の基礎を学ぶ。
	21	選択基礎6	選択授業の基礎を学ぶ。
	22	選択基礎7	選択授業の基礎を学ぶ。
	23	選択基礎8	選択授業の基礎を学ぶ。
	24	選択基礎9	選択授業の基礎を学ぶ。
	25	選択基礎10	選択授業の基礎を学ぶ。
	26	選択基礎11	選択授業の基礎を学ぶ。
	27	選択基礎12	期末試験範囲発表、期末試験範囲振り返り
28	期末試験	期末試験	
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	愛玩飼養管理士概論		指導担当者名	金成 雄介
実務経験	無			
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:
年間時間数	56 時間		週時間数	2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・動物についての理論的かつ科学的に理解を深め、専門的知識を高める。 ・社会のニーズに対応できる実践的応用力を身につける。 ・愛玩動物を扱う者として、必要な法律の知識を習得し、広く普及啓発を行えるようにする。 			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	愛玩動物飼養管理士2級教本 1, 2巻			
授業外学習の方法	予習復習、課題報告問題を解く			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	第Ⅰ編愛玩動物飼養管理士の社会活動	第1章公益社団法人日本愛玩協会の目的・事業	
	2	第Ⅰ編愛玩動物飼養管理士の社会活動	第2章愛玩飼養管理士	
	3	第Ⅱ編 動物愛護論Ⅰ	第1章人は動物をどのように見てきたのか	
	4	第Ⅱ編 動物愛護論Ⅰ	第2章近代的動物愛護運動の始まり	
	5	第Ⅱ編 動物愛護論Ⅰ	第3章現代の動物愛護運動との思想	
	6	第Ⅲ編 人と動物の関係学	第1章互いに影響しあう人と動物	
	7	第Ⅲ編 人と動物の関係学	第2章人を支える動物たち	
	8	第Ⅲ編 人と動物の関係学	第3章動物から子供が学ぶこと	
	9	第Ⅳ編 動物関係法令概説	第1章動物と法律との関係	
	10	第Ⅳ編 動物関係法令概説	第2章動物の愛護及び管理に関する法律	
	11	第Ⅳ編 動物関係法令概説	第3章動物の飼養及び保管に関する基準法	
	12	第Ⅳ編 動物関係法令概説	第4章家庭飼育動物に関わる関係法令	
	13	第Ⅳ編 動物関係法令概説	第5章野生動物にかかわる関係法令	
	14	期末テスト		期末テスト
履修上の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	愛玩飼養管理士概論		指導担当者名	金成 雄介
実務経験	無			
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生	
授業方法	講義：○	演習：	実習：	実技：
年間時間数	56 時間		週時間数	2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・動物についての理論的かつ科学的に理解を深め、専門的知識を高める。 ・社会のニーズに対応できる実践的応用力を身につける。 ・愛玩動物を扱う者として、必要な法律の知識を習得し、広く普及啓発を行えるようにする。 			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	愛玩動物飼養管理士2級教本 1, 2巻			
授業外学習の方法	予習復習、課題報告問題を解く			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	15	第Ⅴ編動物のからだの仕組みと働き	第1章体の基本の仕組み	
	16	第Ⅴ編動物のからだの仕組みと働き	第2章栄養を取り入れる	
	17	第Ⅴ編動物のからだの仕組みと働き	第3章酸素を取り入れる	
	18	第Ⅴ編動物のからだの仕組みと働き	第4章老廃物の排出、異物の撃退と解毒	
	19	第Ⅴ編動物のからだの仕組みと働き	第5章情報を取り入れる	
	20	第Ⅴ編動物のからだの仕組みと働き	第5章情報を取り入れる	
	21	第Ⅴ編動物のからだの仕組みと働き	第7章子どもを産み育てる	
	22	第Ⅵ編動物の飼養管理	第1章動物の飼養管理(総論)	
	23	第Ⅵ編動物の飼養管理	第2章犬の飼養管理 第3章猫の飼養管理	
	24	第Ⅵ編動物の飼養管理	第4章その他の哺乳類の飼養管理 第5章鳥類の飼養管理	
	25	第Ⅶ編動物のしつけ	第1章学習理論 第2章犬と猫の社会化	
	26	第Ⅶ編動物のしつけ	第3章犬のしつけの基本	
	27	第Ⅶ編動物のしつけ	第4章室内飼育猫の死受け基本	
28	期末テスト	期末テスト		
履修上の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	PC演習	指導担当者名	金成 雄介
実務経験	無		
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生
授業方法	講義:	演習: ○	実習: 実技:
年間時間数	56 時間	週時間数	2 時間
学習到達目標	PCの基本的な操作を学び、wordを使ってはがきや広告などを作成することができる。		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	word2021クイックマスター 基本編		
授業外学習の方法	自宅での教材復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	授業の流れ クイックマスターをPCに取り込む
	2	Word基礎①	wordの基本
	3	Word基礎②	文字の入力と編集の基本操作
	4	Word基礎③	文書の編集
	5	Word基礎④	文書の印刷
	6	実践練習1	犬の解説文を作成する
	7	Word基礎⑤	文書の作成
	8	Word基礎⑥	表を使った文書の作成
	9	Word基礎⑦	図形や画像を使った文書の作成
	10	実践練習2-1	画像を使って広告を作る
	11	実践練習2-2	画像を使って広告を作る
	12	演習問題1	テキストを使って演習
	13	期末試験	期末試験
	14	振り返り	前期振り返り
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	PC演習	指導担当者名	金成 雄介
実務経験	無		
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生
授業方法	講義:	演習: ○	実習: 実技:
年間時間数	56 時間	週時間数	2 時間
学習到達目標	PCの基本的な操作を学び、wordを使ってはがきや広告などを作成することができる。		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	word2021クイックマスター 基本編		
授業外学習の方法	自宅での教材復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	15	前期復習、Excel導入	前期の復習・確認と今後の流れ確認 クイックマスターをPCに取り込む
	16	Excel基礎①	chapter 1
	17	Excel基礎②	chapter2
	18	Excel基礎③	chapter3
	19	Excel基礎④	chapter4
	20	実践練習①	顧客リストを作成
	21	Excel基礎⑤	chapter5
	22	Excel基礎⑥	chapter6
	23	Excel基礎⑦	chapter7
	24	実践練習②-1	売上管理をする
	25	実践練習②-2	売上管理をする
	26	演習問題1	テキストを使って演習
	27	期末試験	期末テスト
	28	振り返り	後期振り返り
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	犬学 I	指導担当者名	坂元 幸江
実務経験	有	動物病院にて動物看護師として20年超の実務経験がある	
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実技:
年間時間数	56 時間		週時間数 2 時間
学習到達目標	<p><科目主旨> ・動物の取り扱いや日常的な管理を行う為の基礎知識の習熟を目指す。</p> <p><到達目標> ・動物看護にて知識を得て、動物達へストレスがかからないように適切なケアができること。</p>		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	めざせ早期発見！わかる犬の病気		
授業外学習の方法	病気について予習復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる病気	1 全身チェック
	2	第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる病気	2 人や動物にうつる恐れのある病気
	3	第2章早期発見するための部位別病気の知識	1 皮膚の病気
	4	第2章早期発見するための部位別病気の知識	2 耳の病気
	5	第2章早期発見するための部位別病気の知識	3 目の病気
	6	第2章早期発見するための部位別病気の知識	4 鼻と口の病気
	7	第2章早期発見するための部位別病気の知識	5 おしり・お腹周りの病気
	8	第2章早期発見するための部位別病気の知識	6 足先・膝・腰まわりの病気
	9	第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識	1 シャンプーの基礎知識
	10	第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識	2 トリミングサロン・ペットショップ内の正しい清掃・消毒方法
	11	第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識	3 ワクチンの基礎知識
	12	前期期末試験対策	復習
	13	前期期末試験対策	復習
	14	前期期末試験	前期期末試験
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	犬学 I	指導担当者名	坂元 幸江
実務経験	有	動物病院にて動物看護師として20年超の実務経験がある	
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実技:
年間時間数	56 時間		週時間数 2 時間
学習到達目標	<p><科目主旨> ・動物の取り扱いや日常的な管理を行う為の基礎知識の習熟を目指す。</p> <p><到達目標> ・動物看護にて知識を得て、動物達へストレスがかからないように適切なケアができること。</p>		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	めざせ早期発見！わかる犬の病気		
授業外学習の方法	病気について予習復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	15	第4章飼い主さんへの病気説明	アレルギー、外耳炎、角膜炎
	16	第4章飼い主さんへの病気説明	肛門嚢炎、股関節形成不全、子宮蓄膿症、
	17	第4章飼い主さんへの病気説明	歯周病、糖尿病、
	18	第4章飼い主さんへの病気説明	白内障、緑内障、
	19	第4章飼い主さんへの病気説明	結膜炎
	20	第4章飼い主さんへの病気説明	マダニ、ノミについて
	21	第5章トリミングトラブル	1 爪切りで出血させてしまった
	22	第5章トリミングトラブル	2 目がしょぼしょぼする
	23	第5章トリミングトラブル	3 フケが多くなった
	24	第5章トリミングトラブル	4 嘔吐、下痢
	25	第5章トリミングトラブル	5 血尿がでてしまった
	26	第5章トリミングトラブル	6 片足立ちになっている、足腰が立たない
	27	第5章トリミングトラブル	7 足先をなめている 8 いぼや皮膚を切ってしまった
28	後期期末テスト	後期期末テスト	
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	ペット美容演習 I	指導担当者名	矢吹 紗也
実務経験	有	トリミングサロンで3年以上の実務経験がある	
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生
授業方法	講義:	演習: ○	実習: 実技:
年間時間数	56 時間		週時間数 2 時間
学習到達目標	<p><科目主旨> スタンダードの理解と、各犬体各種のカットング、クリッピングの手順、形、ラインなどを学ぶ。 実社会で使用する最低限度の用語等を習得する。モデル犬受付業務の流れ。</p> <p><到達目標> カットスタイル習得。一人で2~3時間以内で仕上げまでトリミング実習での実践できるようにする。モデル犬受付業務の習得。バリカン使用の習得。</p>		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	日本ペットビジネススクール協会 ペット美容学 インターズー プロフェッショナルワークブック		
授業外学習の方法	ペット美容学教科書の予習復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	オリエンテーション	自己紹介
	2	犬体用語・毛色用語・被毛用語・ペット美容用語	犬体各部の名所
	3	GM道具の手入れについて	道具の取り扱い
	4	ペット美容用語	用語解説
	5	トリミング用具・ハサミ	ハサミの手入れについて
	6	ハサミの基本技法	ハサミの持ち方
	7	ブラシ、コーム、クリッパー	取り扱い
	8	爪切り、ドライヤー、テーブル	使い方
	9	リボンの作り方	実践で使える手作りリボンの解説
	10	爪の手入れ	犬の爪切り
	11	パッド、目、歯の手入れ	パッドの手入れ、目の手入れ、歯の手入れ
	12	耳の手入れ 肛門の手入れ	耳の手入れ 耳の中の毛を抜く 耳の汚れをふき取る 肛門囊の絞り方
	13	シャンピング ドライング	シャンピングの必要性 シャンピングの目的 シャンピングの前処理 シャンピングの弊害と対策
	14	まとめ	期末試験
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	ペット美容演習 I	指導担当者名	矢吹 紗也
実務経験	有	トリミングサロンで3年以上の実務経験がある	
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生
授業方法	講義:	演習: ○	実習: 実技:
年間時間数	56 時間		週時間数 2 時間
学習到達目標	<p><科目主旨> スタンダードの理解と、各犬体各種のカット、クリッピングの手順、形、ラインなどを学ぶ。実社会で使用する最低限度の用語等を習得する。モデル犬受付業務の流れ。</p> <p><到達目標> カットスタイル習得。一人で2~3時間以内で仕上げまでトリミング実習での実践できるようにする。モデル犬受付業務の習得。バリカン使用の習得。</p>		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	日本ペットビジネススクール協会 ペット美容学 インターズー プロフェッショナルワークブック		
授業外学習の方法	ペット美容学教科書の予習復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	15	リンシング	リンシングの目的 リンス剤の種類
	16	作業困難な犬柄の対処	安全な保定のしかた
	17	マルチーズのグルーミング	シザー仕上げ クリッパー仕上げの方法
	18	ヨークシャテリアのグルーミング	ペットトリムとショークリップの違い
	19	シーズーのグルーミング	ペットトリムとショークリップの違い
	20	ポメラニアン of グルーミング	ショークリップ 柴カット について
	21	アメリカンコッカースパニエルのペットトリム	クリッパーの使い方
	22	アメリカンコッカースパニエルのショートトリム	クリッパーとスキバサミの取り扱い
	23	プードルのペットクリップ	ラムクリップ スイートハート ダッチ ハリウッド マイアミ
	24	プードルのショークリップ	パピークリップ コンチネンタル イングリッシュサドルクリップ
	25	プードル各部の仕上げ	ボンボンの作り方、スウェル、プレスレッド、ローゼット、レッグバリエーション
	26	プードルの理想体型	ドワーフタイプとハイオンタイプの違い
	27	トイプードル(ラムクリップ)	作業工程と注意点
28	まとめ	期末試験	
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	POP・イラスト演習		指導担当者名	佐藤 美希子
実務経験	無			
開講時期	後期	対象学科学年	ペット総合科1年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:
年間時間数	28 時間		週時間数	2 時間
学習到達目標	基本的なPOPの知識の習得。			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	水性マーカー、画用紙、鉛筆			
授業外学習の方法	授業内容の予習、復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	オリエンテーション	授業趣旨説明、簡単な実習	
	2	POPイラストとは	身の回りにあるPOPイラストを見つける	
	3	POP実践	ゴシック体の練習①	
	4	POP実践	ゴシック体の練習②	
	5	POP実践	ゴシック体の練習③	
	6	POP実践	ゴシック体の練習④	
	7	オリジナルネームの作成	オリジナルネームプレートの作成	
	8	オリジナルネームの作成	オリジナルネームプレートの作成	
	9	オリジナルネームの作成	オリジナルネームプレートの作成	
	10	オリジナルネームの作成	オリジナルネームプレートの作成	
	11	オリジナルネームの作成	オリジナルネームプレートの作成	
	12	オリジナルネームの作成	オリジナルネームプレートの作成	
	13	前期テスト	作品発表・講評会	
	14	振り返り	内容を振り返る	
履修上の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	サービス接客演習	指導担当者名	佐藤 美希子
実務経験	無		
開講時期	前期	対象学科学年	ペット総合科 1年生
授業方法	講義:	演習: ○	実習: 実技:
年間時間数	28 時間	週時間数	2 時間
学習到達目標	基本的な接客の知識の習得。接客時の動作習得。		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	サービス接客検定1級・2級・3級		
授業外学習の方法	授業内容の予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	授業趣旨説明、簡単な実習
	2	確認テスト	テキストP194-208
	3	テスト振り返り	
	4	サービススタッフの資質①	テキストP16-42
	5	サービススタッフの資質②	
	6	専門知識①	テキストP44-82
	7	専門知識②	
	8	一般知識①	テキストP83-110
	9	一般知識②	
	10	一般知識③	テキストP112-116
	11	一般知識④	
	12	対人技能①	テキストP118-144
	13	期末テスト	
	14	振り返り	
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	トリミング実習 I		指導担当者名	矢吹紗也
実務経験	有	ペット関連施設で3年以上の実務経験がある		
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	168 時間		週時間数	6 時間
学習到達目標	ドッグマネキンのカットを一人で2時間以内で仕上げることが出来る。 トリミング作業について基礎知識を身につける。			
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。			
使用教材	トリミング道具一式			
授業外学習の方法	ドッグマネキンのブラッシング、用具の使用方法の予習復習、トリミングの流れの予習復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	グルーミングの心構え	
	2	実習用具の使用練習	シザーの扱い方	
	3	実習用具の使用練習	シザーの扱い方②	
	4	実習用具の使用練習	クリッパーの扱い方	
	5	実習用具の使用練習	爪切り、耳掃除の仕方	
	6	実習用具の使用練習	作業の流れの確認	
	7	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット①	
	8	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット②	
	9	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット③	
	10	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット④	
	11	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット⑤	
	12	期末試験	ドッグマネキンの2時間カット	
	13	期末試験	振り返り、カット修正	
	14	振り返り	振り返り、カット修正	
履修上の留意点				
・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施				

授業計画(シラバス)

科目名	トリミング実習 I		指導担当者名	矢吹紗也
実務経験	有	ペット関連施設で3年以上の実務経験がある		
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	168 時間		週時間数	6 時間
学習到達目標	ドッグマネキンのカットを一人で2時間以内で仕上げることが出来る。 トリミング作業について基礎知識を身につける。			
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。			
使用教材	トリミング道具一式			
授業外学習の方法	ドッグマネキンのブラッシング、用具の使用方法の予習復習、トリミングの流れの予習復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	15	前期復習	トリミングの流れの復習	
	16	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット①	
	17	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット②	
	18	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット③	
	19	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット④	
	20	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット⑤	
	21	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット⑥	
	22	モデル犬実習	トイプードルのモデル犬カット	
	23	モデル犬実習	チワワのモデル犬カット	
	24	モデル犬実習	シーズーのモデル犬カット	
	25	モデル犬実習	ポメラニアンモデル犬カット	
	26	期末試験	ドッグマネキンの1時間30分カット	
	27	振り返り	振り返り、カット修正	
	28	振り返り	振り返り、カット修正	
履修上の留意点				
・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施				

授業計画(シラバス)

科目名	トレーニング実習 I		指導担当者名	金成 舞
実務経験	有	ドッグトレーナーとして犬のしつけ教室・ドッグイベント企画運営・ドッグトレーナー養成事業に3年以上従事		
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	84 時間		週時間数	3 時間
学習到達目標	<p><科目主旨> 犬の基本的な扱いやトレーニングの技術を総合的に養う</p> <p><到達目標> 犬のトレーニング方法を理解し、自ら目標を立てて実行できる</p>			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	一般社団法人 全日本動物専門教育協会 ドッグトレーニング			
授業外学習の方法	教科書や授業動画を使って復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	イヌってどんな生き物か①	歴史的背景、気持ちの表現方法について	
	2	イヌってどんな生き物か②	ドミナンスコントロールについて	
	3	学習とは何か?	学習理論(古典的条件付け、オペラント条件付け)	
	4	学習方法①	犬の社会化	
	5	学習方法②	慣らし方について	
	6	問題行動①	「吠え」に関する問題行動の原因と対処方法を知る	
	7	問題行動②	「噛む」に関する問題行動の原因と対処方法を知る	
	8	問題行動③	「散歩中の問題」に関する問題行動の原因と対処方法を知る	
	9	問題行動④	「その他の問題行動」に関する問題行動の原因と対処方法を知る	
	10	問題行動について調べる①	書籍やインターネットから調べてまとめる	
	11	問題行動について調べる②	書籍やインターネットから調べてまとめる	
	12	問題行動について調べる③	書籍やインターネットから調べてまとめる	
	13	期末試験	期末試験	
	14	振り返り	総括	
履修上の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	トレーニング実習 I		指導担当者名	金成 舞
実務経験	有	ドッグトレーナーとして犬のしつけ教室・ドッグイベント企画運営・ドッグトレーナー養成事業に3年以上従事		
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	84 時間		週時間数	3 時間
学習到達目標	<p><科目主旨> 犬の基本的な扱いやトレーニングの技術を総合的に養う</p> <p><到達目標> 犬のトレーニング方法を理解し、自ら目標を立てて実行できる</p>			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	一般社団法人 全日本動物専門教育協会 ドッグトレーニング			
授業外学習の方法	教科書や授業動画を使って復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	15	シミュレーション①	しつけ教室を想定したお客様対応の練習	
	16	シミュレーション②	しつけ教室を想定したお客様対応の練習	
	17	シミュレーション③	犬をハンドリングした状態でお客様対応の練習	
	18	ドッグイベントについて	愛犬家が楽しめるイベントについて調べる	
	19	ドッグイベントについて計画①	イベントを計画する	
	20	ドッグイベントについて計画②	イベントを計画する	
	21	ドッグイベント実施①	学科内でイベント実施	
	22	ドッグイベント実施②	学科内でイベント実施	
	23	ドッグイベント実施③	学外からお客様を招いてイベント実施	
	24	ドッグイベント実施④	学外からお客様を招いてイベント実施	
	25	イベントの振り返り①	反省点をまとめブラッシュアップ	
	26	イベントの振り返り②	反省点をまとめブラッシュアップ	
	27	期末試験	期末試験	
	28	振り返り	総括	
履修上の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	ペット総合演習 I		指導担当者名	佐藤 美希子	
実務経験	無				
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生		
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
年間時間数	56 時間		週時間数	2 時間	
学習到達目標	<p>就職に向けて実践的な知識や技術を身に付けることができる。</p> <p>①受付係: トリミング実習の際、受付をし、お客様からのオーダーを聞いたり、犬を預かったりする。</p> <p>②会計係: サロン実習の際、お客様から料金をお預かりし、領収書を渡す。また、その日の売り上げの確認と、20日までに一か月分の売り上げを事務局に渡す。</p> <p>③消耗品管理、掃除係: ペット総合科で使用している用品の在庫をチェックし、補充したいものを担任に報告する。また、教室、実習室のごみ捨てを担当する。</p> <p>④SNS/掲示板係: 実習の様子やカットの仕上がりの写真など、ペット総合科Instagramに投稿する。また、教室内と廊下の掲示板にペット総合科の事に関する内容の掲示物(新聞やペット自慢等)を作成する。</p> <p>⑤オープンキャンパス係: オープンキャンパスの学生スタッフとして、来校した学生や保護者の対応、また、体験実習での実演をする。</p>				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	筆記用具、PC				
授業外学習の方法	グループ内で共有したい情報や、校外へ発信したい情報を考える。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	一年間の授業の流れや目的の理解 グループ編成(5グループ)		
	2	各班での活動	1, 2年生合同の5つのグループに分かれ、各自担当の係を受け持つ。1~2か月ごとのローテーションで係を変えていく。		
	3	各班での活動1-1	○初回なので改善ポイント、よくできたポイント等随時まとめさせる。		
	4	各班での活動1-2	○まとめをもとに班ごとに話し合いをし、発表に向けて準備をする。		
	5	各班での活動1-3	○学科内だけでなく、学外の人目を意識して活動をする。		
	6	特別授業(外部企業による講演)	トリミングサロンを経営している方による、現在のペット業界についての講演		
	7	報告会1、引継ぎ、準備	各班、活動の中でうまくいったこと、反省点をまとめ報告する。次の担当になる班はそれを引継ぎ、次回からの活動の計画を立てる。		
	8	各班での活動2-1	○まとめをもとに班ごとに話し合いをし、発表に向けて準備をする。		
	9	各班での活動2-2	○学科内だけでなく、学外の人目を意識して活動をする。		
	10	各班での活動2-3	○各般の発表を受けて注意するポイントを意識して活動をする。		
	11	報告会2、引継ぎ、準備	各班、活動の中でうまくいったこと、反省点をまとめ報告する。次の担当になる班はそれを引継ぎ、次回からの活動の計画を立てる。また、前期の班としての反省をする。		
	12	各班での活動3-1	○まとめをもとに班ごとに話し合いをし、発表に向けて準備をする。		
	13	各班での活動3-2	○学科内だけでなく、学外の人目を意識して活動をする。		
	14	報告会3(前期振り返り)、引継ぎ、準備	活動での反省点をまとめ報告する。次担当班に引継ぎ、活動の計画を立てる。		
履修上の留意点					
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	ペット総合演習 I		指導担当者名	佐藤 美希子	
実務経験	無				
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生		
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
年間時間数	56 時間		週時間数	2 時間	
学習到達目標	<p>就職に向けて実践的な知識や技術を身に付けることができる。</p> <p>①受付係: トリミング実習の際、受付をし、お客様からのオーダーを聞いたり、犬を預かったりする。</p> <p>②会計係: サロン実習の際、お客様から料金をお預かりし、領収書を渡す。また、その日の売り上げの確認と、20日までに一か月分の売り上げを事務局に渡す。</p> <p>③消耗品管理、掃除係: ペット総合科で使用している用品の在庫をチェックし、補充したいものを担任に報告する。また、教室、実習室のごみ捨てを担当する。</p> <p>④SNS/掲示板係: 実習の様子やカットの仕上がりの写真など、ペット総合科Instagramに投稿する。また、教室内と廊下の掲示板上にペット総合科の事に関する内容の掲示物(新聞やペット自慢等)を作成する。</p> <p>⑤オープンキャンパス係: オープンキャンパスの学生スタッフとして、来校した学生や保護者の対応、また、体験実習での実演をする。</p>				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	筆記用具、PC				
授業外学習の方法	グループ内で共有したい情報や、校外へ発信したい情報を考える。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	15	前期振り返りと後期の目標設定	各班ごとに前期の振り返りをし、後期の活動の目標を立てる		
	16	各班での活動4-1	1, 2年生合同の5つのグループに分かれ、各自担当の係を受け持つ。1~2か月ごとのローテーションで係を変えていく。		
	17	各班での活動4-2	○初回なので改善ポイント、よくできたポイント等随時まとめさせる。		
	18	各班での活動4-3	○まとめをもとに班ごとに話し合いをし、発表に向けて準備をする。		
	19	報告会4、引継ぎ、準備	○学科内だけでなく、学外の人目を意識して活動をする。		
	20	各班での活動5-1	トリミングサロンを経営している方による、現在のペット業界についての講演		
	21	各班での活動5-2	各班、活動の中でうまくいったこと、反省点をまとめ報告する。次の担当になる班はそれを引継ぎ、次回からの活動の計画を立てる。		
	22	各班での活動5-3	○まとめをもとに班ごとに話し合いをし、発表に向けて準備をする。		
	23	報告会5、引継ぎ、準備	○学科内だけでなく、学外の人目を意識して活動をする。		
	24	各班での活動6-1	○各般の発表を受けて注意するポイントを意識して活動をする。		
	25	各班での活動6-2	各班、活動の中でうまくいったこと、反省点をまとめ報告する。次の担当になる班はそれを引継ぎ、次回からの活動の計画を立てる。また、前期の班としての反省をする。		
	26	各班での活動6-3	○まとめをもとに班ごとに話し合いをし、発表に向けて準備をする。		
	27	報告会6(後期振り返り)、引継ぎ、準備	○学科内だけでなく、学外の人目を意識して活動をする。		
	28	一年間の振り返り	活動での反省点をまとめ報告する。次担当班に引継ぎ、活動の計画を立てる。		
履修上の留意点					
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	キャットグルーミング演習 I	指導担当者名	坂元 幸江
実務経験	有	動物病院にて動物看護師として20年超の実務経験がある	
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生
授業方法	講義:	演習: ○	実習: 実技:
年間時間数	84 時間		週時間数 3 時間
学習到達目標	猫の取り扱いについて知る。 猫の生態について知る。		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	教本、トリミング道具一式		
授業外学習の方法	用具の使用方法の予習復習、教本内容の予習復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	オリエンテーション	猫のグルーミングについて知る
	2	猫の十戒	猫の十戒について理解する
	3	猫の歴史	猫の歴史(世界)
	4	猫の歴史	猫の歴史(日本)
	5	猫の室内飼育	フード、飲み水
	6	猫の室内飼育	猫のテリトリー、トイレ、しつけ
	7	猫の身体的特徴	犬と猫の違い
	8	猫の身体的特徴	猫の妊娠と出産
	9	猫のからだの名称	顔の作り
	10	猫のからだの名称	体のつくり
	11	キャットショー	審査クラス
	12	キャットショー	審査の流れ
	13	期末試験	期末試験
	14	振り返り	振り返り
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	キャットグルーミング演習 I	指導担当者名	坂元 幸江
実務経験	有	動物病院にて動物看護師として20年超の実務経験がある	
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 1年生
授業方法	講義:	演習: ○	実習: 実技:
年間時間数	84 時間		週時間数 3 時間
学習到達目標	猫の取り扱いについて知る。 猫の生態について知る。		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	教本、トリミング道具一式		
授業外学習の方法	用具の使用方法の予習復習、教本内容の予習復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	15	前期復習	猫の取り扱いについて復習
	16	キャットグルーミングについて	用具の扱い方、猫の扱い方について
	17	モデル猫実習	モデル猫のグルーミング(ペアで実施)
	18	モデル猫実習	モデル猫のグルーミング(ペアで実施)
	19	モデル猫実習	モデル猫のグルーミング(ペアで実施)
	20	モデル猫実習	モデル猫のグルーミング(ペアで実施)
	21	モデル猫実習	モデル猫のグルーミング(ペアで実施)
	22	モデル猫実習	モデル猫のグルーミング(ペアで実施)
	23	モデル猫実習	モデル猫のグルーミング(ペアで実施)
	24	モデル猫実習	モデル猫のグルーミング(ペアで実施)
	25	モデル猫実習	1人でグルーミングをする
	26	モデル猫実習	1人でグルーミングをする
	27	期末試験	1人でグルーミングをする
	28	振り返り	振り返り
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	コミュニケーション演習		指導担当者名	佐藤 美希子
実務経験	無			
開講時期	前期	対象学科学年	ペット総合科 1年生	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:
年間時間数	28 時間		週時間数	時間
学習到達目標	サーティファイ コミュニケーション検定初級の取得、ロールプレイングを通してコミュニケーション力の向上を目指す。			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	コミュニケーション検定初級 テキスト			
授業外学習の方法	テキストを使用し、過去問題を回答する			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業の目的、使用教材についての理解、授業の進行について説明	
	2	パート1 コミュニケーションセオリー(理論)	1-1コミュニケーションを考える、2-1目的に即して聞く	
	3	パート1 コミュニケーションセオリー(理論)	2-2傾聴・質問する	
	4	パート1 コミュニケーションセオリー(理論)	3-1目的を意識する	
	5	パート1 コミュニケーションセオリー(理論)	3-2話を組み立てる	
	6	パート1 コミュニケーションセオリー(理論)	3-3言葉を選び抜く	
	7	パート1 コミュニケーションセオリー(理論)	3-4表現伝達する	
	8	パート2 コミュニケーションプラクティス(実践)	1-1来客対応、1-2電話対応	
	9	パート2 コミュニケーションプラクティス(実践)	1-3アポイントメント・訪問・挨拶、1-4情報共有の重要性	
	10	パート2 コミュニケーションプラクティス(実践)	1-5チームコミュニケーション	
	11	パート2 コミュニケーションプラクティス(実践)	2-1接客営業、2-2クレーム対応	
	12	パート2 コミュニケーションプラクティス(実践)	2-3会議・取材・ヒアリング、2-4面接	
	13	検定対策	模擬試験	
	14	期末試験	検定本番	
履修上の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	修了制作 I	指導担当者名	常勤
実務経験	無		
開講時期	後期	対象学科学年	ペット総合科 1年生
授業方法	講義:	演習:	実習: ○ 実技:
年間時間数	180 時間	週時間数	時間
学習到達目標	・1年生:1年間の集大成として学んだこと活かしデジタルコンテンツを制作し、プレゼンテーションをする。		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	デジタルコンテンツ制作に必要な物を各自用意。		
授業外学習の方法	制作にあたり、事前の企画・計画をそれぞれ複数の先生方と行い、チェックをもらう事		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	作品制作①	事前に準備していた企画・計画に沿ってそれぞれ制作にあたる
	2	作品制作②	個別添削を行いながら制作を進めていく
	3	作品制作③	中間発表
	4	学科内プレゼンテーション	学科内でプレゼンテーションを実施
	5	発表を受けての修正と展示準備	オンライン展示およびオンサイト展示を実施
	6	卒業・修了制作展	展示終了後は、アーカイヴ化し、デジタル保存をする
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	進路研究Ⅱ		指導担当者名	就職担当職員
実務経験	無			
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 2年生	
授業方法	講義：○	演習：	実習：	実技：
年間時間数	28 時間		週時間数	1 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動での面接、書類突破する事を目標とする。 ・前期は、一般常識を強化 ・後期は、個別指導を強化 			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	SUCCESS			
授業外学習の方法	教科書復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	一般常識1	国語 1 漢字の読み書き	
	2	一般常識2	国語 2 対義語・類義語 3 同音異義語・同訓異字	
	3	一般常識3	国語 4 四字熟語 5 故事成語・ことわざ・慣用句	
	4	一般常識4	社会 1 日本史 2 世界史	
	5	一般常識5	社会 3 日本の地理 4 世界の地理	
	6	一般常識6	社会 5 民主政治 6 経済	
	7	小テスト	中学レベル小テスト	
	8	一般常識7	英語 1 英単語・英熟語 2 英文法1 3 英文法2	
	9	一般常識8	英語 4 英文法3 5 会話表現・慣用表現	
	10	一般常識9	数学 1 重要基礎1 2 重要基礎2 3 式と計算	
	11	一般常識10	数学 4 方程式と不等式 5 図形と面積、体積 6 場合の数と確率	
	12	一般常識11	理科 1 物理・化学 2 生物・地学	
	13	一般常識12	文化・芸術・雑学	
	14	期末テスト	一般常識総ざらい	
履修上の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	進路研究Ⅱ		指導担当者名	就職担当職員
実務経験	無			
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 2年生	
授業方法	講義：○	演習：	実習：	実技：
年間時間数	28 時間		週時間数	1 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動での面接、書類突破する事を目標とする。 ・前期は、一般常識を強化 ・後期は、個別指導を強化 			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	SUCCESS			
授業外学習の方法	教科書復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 後期	15	志望動機の作り方 1	3-7 業界、会社にあった動機作り	
	16	志望動機の作り方 2	3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り	
	17	制作書類 1	3-8・3-8(実践編)、3-1~3-3(実践編)、3-6~3-6-2エントリーシート	
	18	制作書類 2	3-8・3-8(実践編)、3-1~3-3(実践編)、3-6~3-6-2封筒の書き方、添え状	
	19	制作書類 3	3-8・3-8(実践編)、3-1~3-3(実践編)、3-6~3-6-2その他の書類、履歴書	
	20	制作書類 4	3-8・3-8(実践編)、3-1~3-3(実践編)、3-6~3-6-2履歴書の完成	
	21	就職試験のマナー 1	5-2~5-3(実践編) 入退室	
	22	就職試験のマナー 2	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策1	
	23	就職試験のマナー 3	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策2	
	24	個別指導1	書類添削、面接指導	
	25	個別指導2	書類添削、面接指導	
	26	個別指導3	書類添削、面接指導	
	27	個別指導4	書類添削、面接指導	
	28	個別指導5	書類添削、面接指導	
履修上の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	クロスオーバーゼミⅡ	指導担当者名	常勤
実務経験	無		
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 2年生
授業方法	講義:	演習: ○	実習: 実技:
年間時間数	56 時間	週時間数	2 時間
学習到達目標	<p>・学校の特徴でもある複数分野の授業を横断的に学習し、視野を広げ見地を高める。</p> <p>・授業内における複数のカリキュラムメニューから自身の興味関心のあるものを選び学習をすることで無理なく学びにつなげることができ、自身の可能性と得意分野を広げていく。</p>		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	ゼミごとに異なる		
授業外学習の方法	ゼミごとに異なる		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業の目的、使用教材についての理解、各担当講師から授業内容について説明。授業選択。
	2	選択基礎1	選択授業の基礎を学ぶ。
	3	選択基礎2	選択授業の基礎を学ぶ。
	4	選択基礎3	選択授業の基礎を学ぶ。
	5	選択基礎4	選択授業の基礎を学ぶ。
	6	選択基礎5	選択授業の基礎を学ぶ。
	7	選択基礎6	選択授業の基礎を学ぶ。
	8	選択基礎7	選択授業の基礎を学ぶ。
	9	選択基礎8	選択授業の基礎を学ぶ。
	10	選択基礎9	選択授業の基礎を学ぶ。
	11	選択基礎10	選択授業の基礎を学ぶ。
	12	選択基礎11	選択授業の基礎を学ぶ。
	13	選択基礎12	期末試験範囲発表、期末試験範囲振り返り
	14	期末試験	期末試験
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	クロスオーバーゼミⅡ	指導担当者名	常勤
実務経験	無		
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 2年生
授業方法	講義:	演習: ○	実習: 実技:
年間時間数	56 時間	週時間数	2 時間
学習到達目標	<p>・学校の特徴でもある複数分野の授業を横断的に学習し、視野を広げ見地を高める。</p> <p>・授業内における複数のカリキュラムメニューから自身の興味関心のあるものを選び学習をすることで無理なく学びにつなげることができ、自身の可能性と得意分野を広げていく。</p>		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	ゼミごとに異なる		
授業外学習の方法	ゼミごとに異なる		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	15	オリエンテーション	授業の目的、使用教材についての理解、各担当講師から授業内容について説明。授業選択。
	16	選択基礎1	選択授業の基礎を学ぶ。
	17	選択基礎2	選択授業の基礎を学ぶ。
	18	選択基礎3	選択授業の基礎を学ぶ。
	19	選択基礎4	選択授業の基礎を学ぶ。
	20	選択基礎5	選択授業の基礎を学ぶ。
	21	選択基礎6	選択授業の基礎を学ぶ。
	22	選択基礎7	選択授業の基礎を学ぶ。
	23	選択基礎8	選択授業の基礎を学ぶ。
	24	選択基礎9	選択授業の基礎を学ぶ。
	25	選択基礎10	選択授業の基礎を学ぶ。
	26	選択基礎11	選択授業の基礎を学ぶ。
	27	選択基礎12	期末試験範囲発表、期末試験範囲振り返り
28	期末試験	期末試験	
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	トリミングサロン実習		指導担当者名	角田 咲
実務経験	有	トリミングサロンで3年以上の実務経験がある		
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 2年生	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	336 時間		週時間数	12 時間
学習到達目標	<p>モデル犬のトリミングを通し、トリミング技術の向上と動物と接する際の心構え等を習得を図る。グループ行動を通しコミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>トイプードルの一通りのトリミング作業が一人で出来る。 サロンへ就職希望の者は、1日2頭を仕上げることが出来る。</p>			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	トリミング道具一式			
授業外学習の方法	トリミング作業手順を予習復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	復習 モデル犬実習	作業の流れ、道具の使い方、コミュニケーションを重点指導	
	2	モデル犬実習	プードル、シーズーのモデル犬カット	
	3	モデル犬実習	プードル、シーズー、ポメラニアンモデル犬カット	
	4	モデル犬実習	プードル、ヨークシャテリア、ダックスフントのモデル犬カット	
	5	モデル犬実習	プードル、チワワ、マルプーのモデル犬カット	
	6	モデル犬実習	プードル、柴犬、ゴールデンレトリバーのモデル犬カット	
	7	モデル犬実習	プードル、パピヨン、ヨークシャテリアのモデル犬カット	
	8	モデル犬実習	プードル、ポメラニアン、チワワのモデル犬カット	
	9	モデル犬実習	プードル、シュナウザー、ペキニーズのモデル犬カット	
	10	モデル犬実習	プードル、ビションフリーゼ、ヨークシャテリアのモデル犬カット	
	11	モデル犬実習	プードル、ビーグル、MIX犬のモデル犬カット	
	12	モデル犬実習	プードル、イングリッシュセッター、シェットランドシープドッグのモデル犬カット	
	13	モデル犬実習	プードル、柴犬、ジャックラッセルのモデル犬カット	
	14	モデル犬実習 前期反省	プードル、ラフコリー、ボメプーのモデル犬カット	
履修上の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	トリミングサロン実習		指導担当者名	角田 咲
実務経験	有	トリミングサロンで3年以上の実務経験がある		
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 2年生	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	336 時間		週時間数	12 時間
学習到達目標	<p>モデル犬のトリミングを通し、トリミング技術の向上と動物と接する際の心構え等を習得を図る。グループ行動を通しコミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>トイプードルの一通りのトリミング作業が一人で出来る。 サロンへ就職希望の者は、1日2頭を仕上げることが出来る。</p>			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	トリミング道具一式			
授業外学習の方法	トリミング作業手順を予習復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	15	オリエンテーション	授業の目的、使用教材についての理解、各担当講師から授業内容について説明。授業選択。	
	16	モデル犬実習	プードル、シーズーのモデル犬カット	
	17	モデル犬実習	プードル、シーズー、ポメラニアンモデル犬カット	
	18	モデル犬実習	プードル、ヨークシャテリア、ダックスフントのモデル犬カット	
	19	モデル犬実習	プードル、チワワ、マルプーのモデル犬カット	
	20	モデル犬実習	プードル、柴犬、ゴールデンレトリバーのモデル犬カット	
	21	モデル犬実習	プードル、パピヨン、ヨークシャテリアのモデル犬カット	
	22	モデル犬実習	プードル、ポメラニアン、チワワのモデル犬カット	
	23	モデル犬実習	プードル、シュナウザー、ペキニーズのモデル犬カット	
	24	モデル犬実習	プードル、ビションフリーゼ、ヨークシャテリアのモデル犬カット	
	25	モデル犬実習	プードル、ビーグル、MIX犬のモデル犬カット	
	26	モデル犬実習	プードル、イングリッシュセッター、シェットランドシープドッグのモデル犬カット	
	27	モデル犬実習	プードル、柴犬、ジャックラッセルのモデル犬カット	
28	期末試験	期末試験		
履修上の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	トレーニング実習Ⅱ		指導担当者名	金成 舞
実務経験	有	ドッグトレーナーとして犬のしつけ教室・ドッグイベント企画運営・ドッグトレーナー養成事業に3年以上従事		
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 2年生	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	336 時間		週時間数	12 時間
学習到達目標	<p><科目主旨> 犬の基本的な扱いやトレーニングの技術を総合的に養う</p> <p><到達目標> 犬のトレーニング方法を理解し、自ら目標を立てて実行できる 公認家庭犬訓練士初級ライセンス合格</p>			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	一般社団法人 全日本動物専門教育協会 ドッグトレーニング			
授業外学習の方法	教科書や授業動画を使って復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	授業の説明	
	2	実習犬のレベルをあげる①	実習犬の学習状況から課題を見つけて強化する	
	3	実習犬のレベルをあげる②	実習犬の学習状況から課題を見つけて強化する	
	4	実習犬のレベルをあげる③	実習犬の学習状況から課題を見つけて強化する	
	5	モチベーションとは何か	オヤツ以外のモチベーションを考える	
	6	犬にとっての妨害刺激とは何か	妨害トレーニング	
	7	先読みを防ぐ	パターンを変えるトレーニング	
	8	特殊トレーニング	妨害トレーニングをしながらパターンを変えるトレーニングを同時実施	
	9	個別練習①	個別練習の目標設定	
	10	個別練習②	個別練習の目標達成に向けた強化期間	
	11	個別練習③	個別練習の目標達成に向けた強化期間	
	12	個別練習④	個別練習の目標達成に向けた強化期間	
	13	期末試験	期末試験	
	14	振り返り	総括	
履修上の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	トレーニング実習Ⅱ		指導担当者名	金成 舞
実務経験	有	ドッグトレーナーとして犬のしつけ教室・ドッグイベント企画運営・ドッグトレーナー養成事業に3年以上従事		
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 2年生	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	336 時間		週時間数	12 時間
学習到達目標	<p><科目主旨> 犬の基本的な扱いやトレーニングの技術を総合的に養う</p> <p><到達目標> 犬のトレーニング方法を理解し、自ら目標を立てて実行できる 公認家庭犬訓練士初級ライセンス合格</p>			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	一般社団法人 全日本動物専門教育協会 ドッグトレーニング			
授業外学習の方法	教科書や授業動画を使って復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	15	行進中の指示①	ノーリードで人は歩きながらスワレをさせる	
	16	行進中の指示②	ノーリードで人は歩きながらフセをさせる	
	17	遠隔①	遠隔でのマテ、コイ	
	18	遠隔①	遠隔でのスワレ、フセ	
	19	総復習①	リード付き→ノーリード→遠隔の流れを実施	
	20	総復習②	リード付き→ノーリード→遠隔の流れを実施	
	21	ドッグスポーツ①	アジリティー、ドッグダンスの実施	
	22	ドッグスポーツ②	アジリティー、ドッグダンスの実施	
	23	個別練習①	個別練習の目標設定	
	24	個別練習②	個別練習の目標達成に向けた強化期間	
	25	個別練習③	個別練習の目標達成に向けた強化期間	
	26	個別練習④	個別練習の目標達成に向けた強化期間	
	27	期末試験	期末試験	
28	振り返り	総括		
履修上の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	犬学Ⅱ	指導担当者名	坂元 幸江
実務経験	有	動物病院にて動物病院看護師として20年超の実務経験がある	
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 2年生
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実技:
年間時間数	56 時間		週時間数 2 時間
学習到達目標	<p><科目主旨> ・動物の取り扱いや日常的な管理を行う為の応用知識の習熟を目指す。</p> <p><到達目標> ・動物看護にて知識を得て、動物達へストレスがかからないように適切なケアができること。</p>		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	看護学教本		
授業外学習の方法	病気について予習復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	内科学	救急医療
	2	内科学	中毒
	3	内科学	出血
	4	内科学	日射病・熱中症
	5	内科学	ショック
	6	内科学	輸液治療(輸液、採血時の準備と保定)
	7	臨床検査学	血液検査
	8	臨床検査学	ヘマトクリット
	9	臨床検査学	血液塗抹標本
	10	臨床検査学	顕微鏡検査
	11	臨床検査学	尿検査、糞便検査
	12	前期期末試験対策	復習
	13	前期期末試験対策	復習
	14	前期期末試験	前期期末試験
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	犬学Ⅱ	指導担当者名	坂元 幸江
実務経験	有	動物病院にて動物病院看護師として20年超の実務経験がある	
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 2年生
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実技:
年間時間数	56 時間		週時間数 2 時間
学習到達目標	<p><科目主旨> ・動物の取り扱いや日常的な管理を行う為の応用知識の習熟を目指す。</p> <p><到達目標> ・動物看護にて知識を得て、動物達へストレスがかからないように適切なケアができること。</p>		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	看護学教本		
授業外学習の方法	病気について予習復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	15	介護学	犬の老化
	16	介護学	ペットの高齢化
	17	介護学	高齢犬介護の心構え
	18	介護学	高齢犬の病気
	19	介護学	高齢犬の食餌管理
	20	介護学	食餌の介助
	21	介護学	犬の床ずれ
	22	介護学	犬の痴呆症
	23	介護学	排泄の介助
	24	介護学	散歩の効用
	25	介護学	介護と臭い対策
	26	介護学	介護士と医療行為
	27	介護学	介護動物とマッサージ、飼育者と介護士
	28		後期期末テスト
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	ペット飼養応用学	指導担当者名	佐藤 美希子
実務経験	無		
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 2年生
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実技:
年間時間数	56 時間	週時間数	2 時間
学習到達目標	<p><科目主旨></p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物についての理論的かつ科学的に理解を深め、専門的知識を高める。 ・社会のニーズに対応できる実践的応用力を身に付ける。 ・愛玩動物を扱う者として、防災の知識を身につけ普及啓発を行えるようにする。 ・見やすいPOPを作成するための知識を身につける。 		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	ペット災害危機管理士4級テキスト		
授業外学習の方法	テキストの予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	ペット災害危機管理士とは	ペット災害危機管理士の必要性
	2	国や行政の取り組み	国、地方公共団体の体制
	3	各種災害対策を知る	平常時からの対策
	4	飼い主として災害に向けての準備	冷静になることの大事さ
	5	避難準備に向けて	避難の種類
	6	ペットの基礎バイタルサイン	バイタルサインとは
	7	日本で起こる災害	近年の自然災害
	8	同行避難	ペット同行避難
	9	避難所	避難場所と避難所
	10	災害時の情報	情報収集の方法
	11	避難事例	避難での事例
	12	人とペットが注意する疾病	災害救助法
	13	前期期末試験対策	復習
	14	前期期末試験	前期期末試験
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	ペット飼養応用学		指導担当者名	佐藤 美希子
実務経験	無			
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 2年生	
授業方法	講義：○	演習：	実習：	実技：
年間時間数	56 時間		週時間数	2 時間
学習到達目標	<p><科目主旨></p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物についての理論的かつ科学的に理解を深め、専門的知識を高める。 ・社会のニーズに対応できる実践的応用力を身に付ける。 ・愛玩動物を扱う者として、防災の知識を身につけ普及啓発を行えるようにする。 ・見やすいPOPを作成するための知識を身につける。 			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	ペット災害危機管理士4級テキスト			
授業外学習の方法	テキストの予習・復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	15	同行避難を周知するために	グループに分かれて周知内容や方法を考える	
	16	同行避難を周知するために	グループに分かれて周知内容や方法を考える	
	17	同行避難を周知するために	グループに分かれて周知内容や方法を考える	
	18	同行避難を周知するために	グループに分かれて周知内容や方法を考える	
	19	同行避難を周知するために	グループに分かれて周知内容や方法を考える	
	20	同行避難を周知するために	グループに分かれて周知内容や方法を考える	
	21	避難訓練を考える	実習中の避難を想定する	
	22	避難訓練を考える	実習中の避難を想定する	
	23	避難訓練を考える	実習中の避難を想定する	
	24	避難訓練を考える	実習中の避難を想定する	
	25	避難訓練を考える	実習中の避難を想定する	
	26	周知するためのPOP制作	見やすいPOPを考える	
	27	周知するためのPOP制作	見やすいPOPを考える	
	28	後期期末テスト	後期期末テスト	
履修上の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	ペット総合演習Ⅱ		指導担当者名	金成 雄介
実務経験	無			
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 2年生	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:
年間時間数	56 時間		週時間数	2 時間
学習到達目標	<p>就職に向けて実践的な知識や技術を身に付けることができる。</p> <p>①受付係: トリミング実習の際、受付をし、お客様からのオーダーを聞いたり、犬を預かったりする。</p> <p>②会計係: サロン実習の際、お客様から料金をお預かりし、領収書を渡す。また、その日の売り上げの確認と、20日までに一か月分の売り上げを事務局に渡す。</p> <p>③消耗品管理、掃除係: ペット総合科で使用している用品の在庫をチェックし、補充したいものを担任に報告する。また、教室、実習室のごみ捨てを担当する。</p> <p>④SNS/掲示板係: 実習の様子やカットの仕上がりの写真など、ペット総合科Instagramに投稿する。また、教室内と廊下の掲示板にペット総合科の事に関する内容の掲示物(新聞やペット自慢等)を作成する。</p> <p>⑤オープンキャンパス係: オープンキャンパスの学生スタッフとして、来校した学生や保護者の対応、また、体験実習での実演をする。</p>			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	筆記用具、PC			
授業外学習の方法	グループ内で共有したい情報や、校外へ発信したい情報を考える。			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	オリエンテーション	一年間の授業の流れや目的の理解 グループ編成(5グループ)	
	2	各班での活動	1, 2年生合同の5つのグループに分かれ、各自担当の係を受け持つ。1~2か月ごとのローテーションで係を変えていく。	
	3	各班での活動1-1	○初回なので改善ポイント、よくできたポイント等随時まとめさせる。	
	4	各班での活動1-2	○まとめをもとに班ごとに話し合いをし、発表に向けて準備をする。	
	5	各班での活動1-3	○学科内だけでなく、学外の人目を意識して活動をする。	
	6	特別授業(外部企業による講演)	トリミングサロンを経営している方による、現在のペット業界についての講演	
	7	報告会1、引継ぎ、準備	各班、活動の中でうまくいったこと、反省点をまとめ報告する。次の担当になる班はそれを引継ぎ、次回からの活動の計画を立てる。	
	8	各班での活動2-1	○まとめをもとに班ごとに話し合いをし、発表に向けて準備をする。	
	9	各班での活動2-2	○学科内だけでなく、学外の人目を意識して活動をする。	
	10	各班での活動2-3	○各般の発表を受けて注意するポイントを意識して活動をする。	
	11	報告会2、引継ぎ、準備	各班、活動の中でうまくいったこと、反省点をまとめ報告する。次の担当になる班はそれを引継ぎ、次回からの活動の計画を立てる。また、前期の班としての反省をする。	
	12	各班での活動3-1	○まとめをもとに班ごとに話し合いをし、発表に向けて準備をする。	
	13	各班での活動3-2	○学科内だけでなく、学外の人目を意識して活動をする。	
	14	報告会3(前期振り返り)、引継ぎ、準備	各班、活動の中でうまくいったこと、反省点をまとめ報告する。次の担当になる班はそれを引継ぎ、次回からの活動の計画を立てる。また、前期の班としての反省をする。	
履修上の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	ペット総合演習Ⅱ		指導担当者名	金成 雄介
実務経験	無			
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 2年生	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:
年間時間数	56 時間		週時間数	2 時間
学習到達目標	<p>就職に向けて実践的な知識や技術を身に付けることができる。</p> <p>①受付係: トリミング実習の際、受付をし、お客様からのオーダーを聞いたり、犬を預かったりする。</p> <p>②会計係: サロン実習の際、お客様から料金をお預かりし、領収書を渡す。また、その日の売り上げの確認と、20日までに一か月分の売り上げを事務局に渡す。</p> <p>③消耗品管理、掃除係: ペット総合科で使用している用品の在庫をチェックし、補充したいものを担任に報告する。また、教室、実習室のごみ捨てを担当する。</p> <p>④SNS/掲示板係: 実習の様子やカットの仕上がりの写真など、ペット総合科Instagramに投稿する。また、教室内と廊下の掲示板上にペット総合科の事に関する内容の掲示物(新聞やペット自慢等)を作成する。</p> <p>⑤オープンキャンパス係: オープンキャンパスの学生スタッフとして、来校した学生や保護者の対応、また、体験実習での実演をする。</p>			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	筆記用具、PC			
授業外学習の方法	グループ内で共有したい情報や、校外へ発信したい情報を考える。			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	15	前期振り返りと後期の目標設定	各班ごとに前期の振り返りをし、後期の活動の目標を立てる	
	16	各班での活動4-1	1, 2年生合同の5つのグループに分かれ、各自担当の係を受け持つ。1~2か月ごとのローテーションで係を変えていく。	
	17	各班での活動4-2	○初回なので改善ポイント、よくできたポイント等随時まとめさせる。	
	18	各班での活動4-3	○まとめをもとに班ごとに話し合いをし、発表に向けて準備をする。	
	19	報告会4、引継ぎ、準備	○学科内だけでなく、学外の人の目を意識して活動をする。	
	20	各班での活動5-1	トリミングサロンを経営している方による、現在のペット業界についての講演	
	21	各班での活動5-2	各班、活動の中でうまくいったこと、反省点をまとめ報告する。次の担当になる班はそれを引継ぎ、次回からの活動の計画を立てる。	
	22	各班での活動5-3	○まとめをもとに班ごとに話し合いをし、発表に向けて準備をする。	
	23	報告会5、引継ぎ、準備	○学科内だけでなく、学外の人の目を意識して活動をする。	
	24	各班での活動6-1	○各般の発表を受けて注意するポイントを意識して活動をする。	
	25	各班での活動6-2	各班、活動の中でうまくいったこと、反省点をまとめ報告する。次の担当になる班はそれを引継ぎ、次回からの活動の計画を立てる。また、前期の班としての反省をする。	
	26	各班での活動6-3	○まとめをもとに班ごとに話し合いをし、発表に向けて準備をする。	
	27	報告会6(後期振り返り)、引継ぎ、準備	○学科内だけでなく、学外の人の目を意識して活動をする。	
	28	一年間の振り返り次年度に向けての引継ぎ	各班、活動の中でうまくいったこと、反省点をまとめ報告する。次の担当になる班はそれを引継ぎ、次回からの活動の計画を立てる。また、前期の班としての反省をする。	
履修上の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	トリミング実習Ⅱ		指導担当者名	角田咲
実務経験	有	トリミングサロンで3年以上の実務経験がある		
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 2年生	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	168 時間		週時間数	6 時間
学習到達目標	ドッグマネキンのカットを一人で2時間以内で仕上げることが出来る。 トリミング作業について基礎知識を身につける。			
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。			
使用教材	トリミング道具一式			
授業外学習の方法	ドッグマネキンのブラッシング、用具の使用方法の予習復習、トリミングの流れの予習復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	グルーミングの心構え	
	2	実習用具の使用練習	シザーの扱い方	
	3	実習用具の使用練習	シザーの扱い方②	
	4	実習用具の使用練習	クリッパーの扱い方	
	5	実習用具の使用練習	爪切り、耳掃除の仕方	
	6	実習用具の使用練習	作業の流れの確認	
	7	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット①	
	8	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット②	
	9	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット③	
	10	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット④	
	11	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット⑤	
	12	期末試験	ドッグマネキンの2時間カット	
	13	期末試験	振り返り、カット修正	
	14	振り返り	振り返り、カット修正	
履修上の留意点				
・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施				

授業計画(シラバス)

科目名	トリミング実習Ⅱ	指導担当者名	角田咲
実務経験	有	トリミングサロンで3年以上の実務経験がある	
開講時期	通年	対象学科学年	ペット総合科 2年生
授業方法	講義:	演習:	実習: ○ 実技:
年間時間数	168 時間		週時間数 6 時間
学習到達目標	<p>ドッグマネキンのカットを一人で2時間以内で仕上げることが出来る。</p> <p>トリミング作業について基礎知識を身につける。</p>		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	トリミング道具一式		
授業外学習の方法	ドッグマネキンのブラッシング、用具の使用方法の予習復習、トリミングの流れの予習復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	15	前期復習	トリミングの流れの復習
	16	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット①
	17	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット②
	18	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット③
	19	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット④
	20	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット⑤
	21	ドッグマネキン実習	ドッグマネキンのカット⑥
	22	モデル犬実習	トイプードルのモデル犬カット
	23	モデル犬実習	チワワのモデル犬カット
	24	モデル犬実習	シーズーのモデル犬カット
	25	モデル犬実習	ポメラニアンモデル犬カット
	26	期末試験	ドッグマネキンの1時間30分カット
	27	振り返り	振り返り、カット修正
	28	振り返り	振り返り、カット修正
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	卒業制作	指導担当者名	常勤
実務経験	無		
開講時期	後期	対象学科学年	ペット総合科 2年生
授業方法	講義:	演習:	実習: ○ 実技:
年間時間数	180 時間	週時間数	180 時間
学習到達目標	・卒業生:2, 3年間の集大成として学んだこと活かしデジタルコンテンツを制作し、プレゼンテーションをする。		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	デジタルコンテンツ制作に必要な物を各自用意。		
授業外学習の方法	制作にあたり、事前の企画・計画をそれぞれ複数の先生方と行い、チェックをもらう事		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	作品制作①	事前に準備していた企画・計画に沿ってそれぞれ制作にあたる
	2	作品制作②	個別添削を行いながら制作を進めていく
	3	作品制作③	中間発表
	4	学科内プレゼンテーション	学科内でプレゼンテーションを実施
	5	発表を受けての修正と展示準備	オンライン展示およびオンサイト展示を実施
	6	卒業・修了制作展	展示終了後は、アーカイヴ化し、デジタル保存をする
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			